

| | | | | |
|------|------------|----|----------------------------|---------------------|
| No. | 15-1-6 | 場所 | 高森町 駒場河原・ 下平（山吹農協稚蚕飼育所） | 次世代への継承キーワード |
| 名称 | 天竜川駒場河原の被災 | | | 災害現象理解 / 情報伝達網整備 |
| 災害現象 | 洪水氾濫 | | | 河川 天竜川本川 |
| 補足事項 | | | | 支流 |

概要

高森町吉田地区では、大島川から押し出された土砂が出砂原集落を埋めた。巨岩を積み上げた長さ約 500m にわたる惣兵衛堤防は、200 年以上もこの地域を守ってきたが、竜の背のごとく盛り上がった天竜川は堤防を乗り越え、地上部のほとんどが押し流された。田沢川は鉄砲水により下流一帯が一面河原となり、11 名の犠牲者を出した。

●体験談：（体験からの教訓）

非常事態に対する配慮として、猛威をほしいままにする濁流、刻々と変化するすさまじい氾濫の中で冷静な判断を下すことは仲々難しいことだ。然し激しければ激しい程このことは大事なことであってこの為に生命を失う場合もある。職場の組織をいち早く形成すること刻々と変る事態に対し適切な判断をスピーディに伝達していく為にやはり軍隊的な班編成が適切と思われる。（中略）

人身の動揺は時として非常に危険な心理作用をもたらす場合が多く一度発生した不安は堤を切った水より恐ろしい早さで群衆に伝わり気力を喪失させる。（中略）

特に照明のない深夜の流言は怖い。避難伝令は適切に落付いてなすべきである。（「災害の市田郷」災害レポートより）

記録



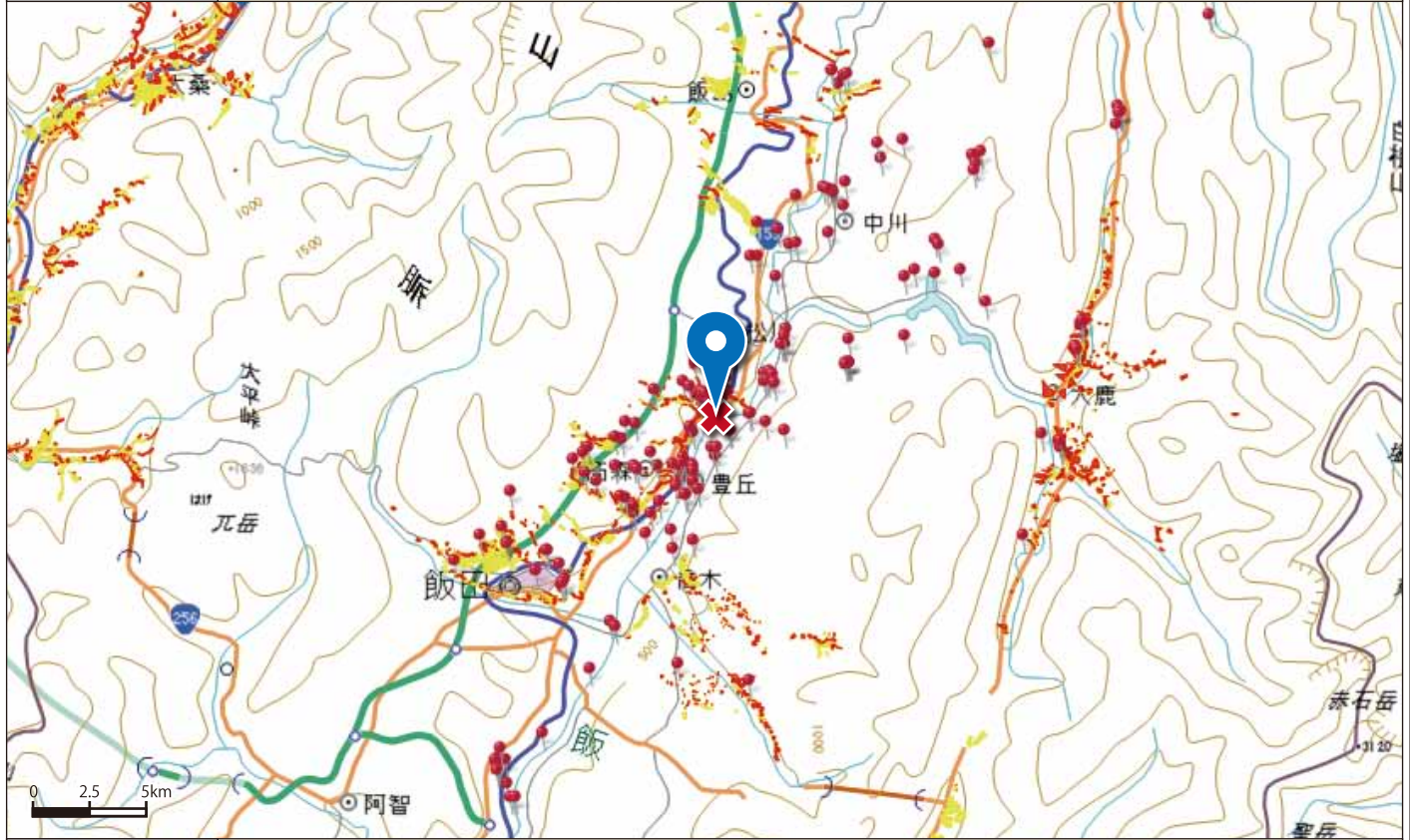
天竜川駒場河原の被災状況。
山吹駅上空から南方を見る。手前の建物は山吹農協稚蚕飼育所。
天竜川の氾濫で流失した駒場河原と田沢川、寺沢川で流失埋没した下平駅付近がみえる。

| | | | |
|----|---|--|--|
| 出典 | 「36 災害 20 周年記念 災害の記録」p.15/「災害の市田郷」災害レポート p.56 | | |
| 備考 | | | |

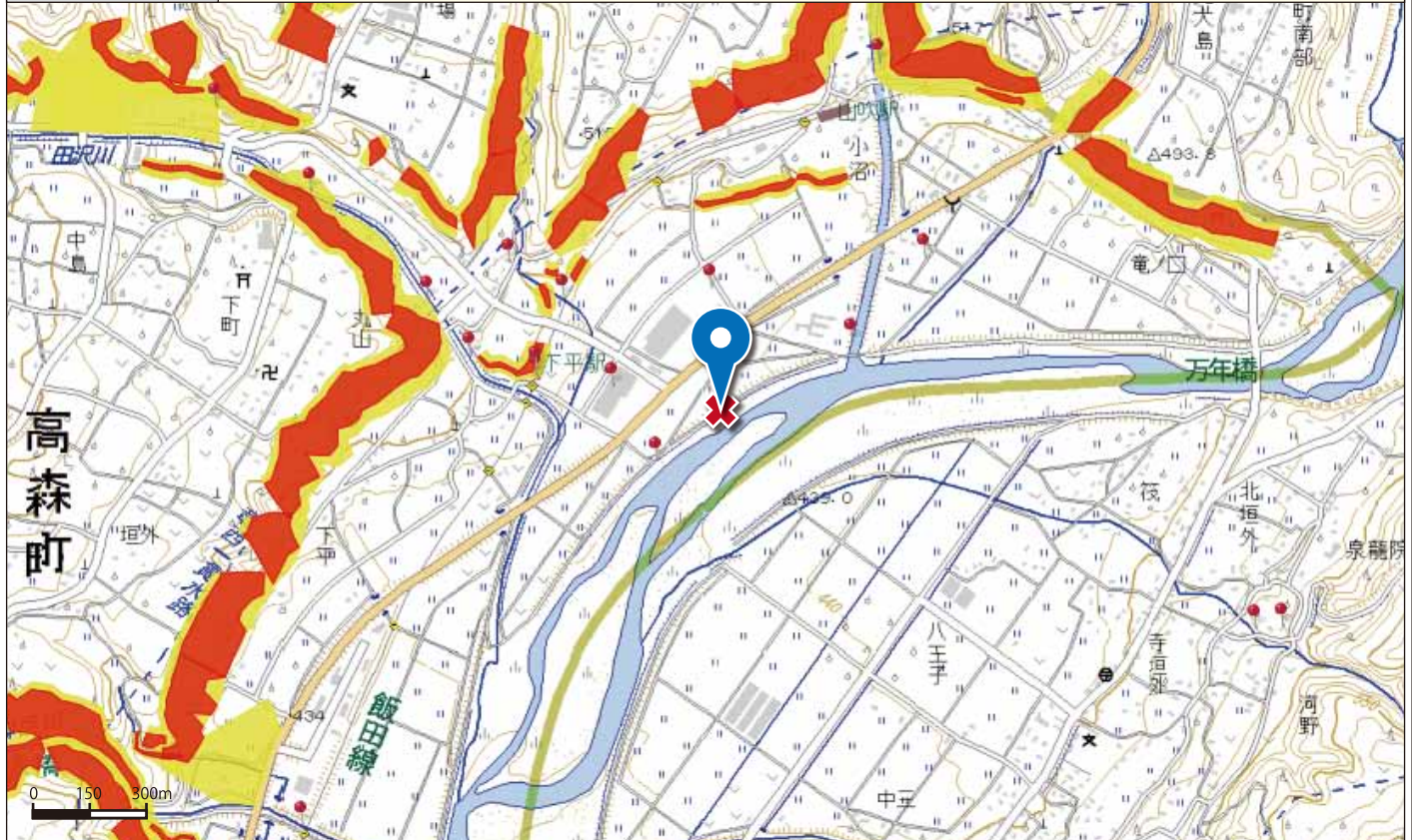
| | | | | | |
|-----|--------|----|-----------------------------|----|-----------|
| No. | 15-1-6 | 場所 | 高森町 駒場河原・ 下平 (山吹農協稚蚕飼育所) | 緯度 | 35.571585 |
|-----|--------|----|-----------------------------|----|-----------|

| | | | | | |
|----|------------|--|--|----|------------|
| 名称 | 天竜川駒場河原の被災 | | | 経度 | 137.900541 |
|----|------------|--|--|----|------------|

地図 広域図



地図 詳細図



備考 上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。